



題字は達増知事

令和3年9月号

発行所

一般社団法人 岩手県畜産協会

〒020-0605 滝沢市砂辺389番7

☎ 019-694-1300(代)

FAX 019-694-1305

U R L : http://iwate.lin.gr.jp

E-Mail : info@iwate.lin.gr.jp

印刷 小松総合印刷



創立50周年を迎え、気持ち新たに使命を果たす

公益社団法人 岩手県農畜産物価格安定基金協会

専務理事 高橋 昭雄

令和3年6月30日付けを持ちまして、岩手県農畜産物価格安定基金協会の専務理事を仰せつかることとなりました。

もとより微力ではありますが、当協会の取組が県内畜産・園芸農家の経営発展の一助となるよう精一杯努めてまいりますので、農家、関係機関・団体の皆様には、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

1 コロナ禍等の中で

国民の生活に大きな影を落としている新型コロナウイルス感染症については、新規感染者数が増加傾向で推移しており、緊急事態宣言の対象地域が拡大されている状況です。

この影響を受け、米の需要が大きく減少し、需要に即した生産が大きな課題となっています。肉用牛についても、業務用需要の落ち込みによる枝肉価格の低下に伴い、2年度上半期には子牛価格の急落がありました。

このような状況に加え、TPP11協定やEUとの経済連携協定に続き、2年1月には日米貿易協定が発効され農畜産物の輸入圧力が強まるなど、農業経営をめぐる情勢は予断を許さない状況となっています。

2 当協会の取組状況

こうした中、当協会が実施している事業としましては、価格安定対策として、肉用子牛の市場価格が保証基準価格を下回った場合に生産者に補給

金を交付する「肉用子牛生産者補給金制度」、東京荷受市場におけるブロイラーの指標価格が保証基準価格を下回った場合に、生産者に補てん金を交付する「ブロイラー価格安定対策事業」、出荷した青果物等(野菜、花き)の価格が低落した場合に生産者に補給金を交付する「青果物等価格安定事業」があります。

また、生産者の生産性向上、規模拡大支援策として、生産者個々の繁殖成績や枝肉情報等を記載した「モットー君通信簿」を提供し、関係機関と連携して巡回指導を行う「肉用牛繁殖経営サポート事業」や、果樹の優良品種への改植、園地整備などを支援する「果樹農業生産力増強総合対策事業」などがあります。

さらに、新型コロナウイルスの影響を受けた肉用子牛価格の急落に対応し、「優良肉用子牛生産推進緊急対策事業」により、畜舎の環境改善や疾病防止等の経営改善に取り組む生産者に対し、奨励金を交付しました。

当協会が実施している各種価格安定制度は、いわゆる掛け捨てとならない積立方式で、補給金等の発動がなかった時には生産者へ積立金を返還するものですし、市場における期間ごとの価格低下に応じて速やかに補てんされるなどの特長を持っています。

(次頁へ続く)

畜産春秋

もくじ CONTENTS

畜産春秋.....	1	第12回全国和牛能力共進会種牛群地区選抜会.....	7
令和2年度岩手県獣医畜産業績発表会(岩手県畜産協会長賞畜産部門).....	2	令和3年度いわてスマート農業推進シンポジウム.....	7
株式会社湯田牛乳公社新工場新築工事落成式.....	3	小岩井農場で生産された乳牛(未経産)がゲノミック評価No.1.....	8
神田謙一住田町長による視察.....	5	青葉コーナー.....	8
令和3年度前期牛群審査の実施状況について.....	5	家畜の保健衛生(137).....	9
令和3年秋の農作業安全確認運動.....	6	畜産の研究(133).....	10
岩手県家畜人工授精師協会通常総会.....	6	畜産技術情報(86).....	11
岩手県乳用牛群検定推進協議会通常総会.....	6	子牛市場及び家畜市場成績.....	12

【「岩手の畜産」は、バックナンバーも含め協会のホームページでご覧いただけます。】

3 今後に向けて

今後もコロナの影響は続くと思われま。また、世界各地で地球温暖化が要因とされる異常気象が頻発しており、本県においても、昨年12月からの記録的な大雪による農業施設への被害や、今年の春からの果樹を中心とした凍霜害やひょう害の発生、7月、8月の台風や低気圧による大雨があったところです。

当協会は昭和45年に設立され、昨年創立50周年を迎えました。

今後とも、社会情勢や気象変動など様々な影響により畜産物や青果物の価格が下落した場合等においても、農業経営の安定化が図られるよう、県

や市町村、農業団体と連携し、各種価格安定制度等により農家への支援を行ってまいります。

また、生産性向上や増頭による肉用牛繁殖経営の所得拡大に向け、前述した「モットー君通信簿」による情報提供や巡回等の取組を実施していきます。

4 終わりに

今年は丑年。高村光太郎の有名な詩に「岩手の人沈深牛の如し。地を往きて走らず、企てて草卒ならず、ついにその成すべきを成す。」とあるように、当協会に課せられた使命（成すべき）を果たせる（成す）よう取り組んでまいりますので、皆様、どうぞよろしく願いいたします。

令和2年度岩手県獣医畜産業績発表会

岩手県畜産協会会長賞受賞（畜産部門）

盛岡市玉山地域における酪農の家族経営モデル確立に向けた取組

盛岡市玉山総合事務所産業振興課 主事 藤原拓哉

□取組の背景と目的

盛岡市玉山地域の酪農の維持・発展に向け、取り組んだ内容をご紹介します。

はじめに、玉山地域の酪農の状況についてですが、平成27年時点では、平成23年と比較して戸数、頭数ともに減少し、経営者の過半が60歳以上であり、後継者を確保できている経営体は2割となっていました。このため酪農経営者への聞き取りなどから原因を分析したところ、

- ①玉山地域の酪農は家族経営主体で複合経営が大多数を占め、飼養頭数が少なく、酪農専業では所得確保が困難で、子に就農を勧めにくいこと、
- ②地域に見本となるような酪農専業の家族経営体が少なく、経営者本人の増頭や後継者が酪農を志す外部環境が整っていないこと。

以上、2つの問題点が浮かび上がってきました。

これらの問題解決に向け、関係機関と課題を整理し、「玉山地域の酪農の維持・発展」をビジョンに掲げ、「酪農専業の家族経営モデルの育成」と「地域内への家族経営モデル波及」を目標に設定しました。

家族経営モデルの経営指標として、①全国平均

並みの飼養規模、②県平均以上の個体乳量、③コスト低減のための粗飼料の自給や地域内確保の3指標を設定しました。

そして、国の補助事業活用に向け、畜産クラスター協議会を設立し、A経営体を家族経営モデルと位置付けた計画を作成し、支援を開始しました。

□取組の内容

家族経営モデルとしたA経営体（以下「モデル」という。）の概要ですが、支援開始時は、経産牛20頭、個体乳量は経産牛1頭あたり年間6,900kgで県平均には及ばず、また、粗飼料基盤も乏しく、増頭に向け粗飼料の確保が課題でした。モデルへ

	牛舎整備・ 機械導入	飼養管理 技術向上	粗飼料確保
モデル	基盤整備	技術習得	粗飼料基盤拡大
J A	-	技術指導	-
普及	牛舎設計等への 助言	技術指導	-
振興局	補助事業事務	-	-
盛岡市	補助事業事務	-	市営牧野の活用 ・育成牛預託 ・草地の定期更新

表1 関係機関の役割分担

ご宿泊・ご宴会にご利用下さい。

くずまき交流館プラトール
TEL. 0195-66-0555 FAX. 0195-66-0511

乳製品の自宅宅配承っております。

ミルクハウスくずまき
TEL. 0195-66-0030 FAX. 0195-66-0031

風車が回る高原の焼肉レストラン

レストハウス袖山高原
TEL/FAX. 0195-68-2010

くずまき高原牧場特産品

くずまき高原牧場 一般社団法人 葛巻町畜産開発公社 〒028-5402 岩手県岩手郡葛巻町葛巻40-57-125
http://www.kuzumaki.jp TEL. 0195-66-0211 FAX. 0195-66-0755

の支援体制と役割分担ですが、モデル自身は、規模拡大に向けた基盤整備、飼養管理技術向上、粗飼料基盤拡大に取り組むこととし、関係機関が表1に示す役割で支援することとしました。

モデルの基盤整備にあたっては、普及センターが中心となり経営発展計画作成を支援しました。増頭後の姿として、図1のように経産牛70頭、1頭あたりの年間乳量を8,200kg、粗飼料基盤として20ha確保することを目標としました。

家族4名が生活できる所得目標 労働力・粗飼料基盤・堆肥処理量		
飼養頭数	経産牛 70頭	(+ 50頭)
個体乳量 経産牛1頭あたり	8,200kg/年	(+ 1,300kg)
粗飼料基盤	20ha	(+ 9ha)

図1 増頭後の目指す姿

牛舎設計にあたっては、用地条件や既存牛舎の活用を踏まえて新牛舎の配置や寸法を検討しつつ、牛舎視察も重ね、設計に反映させました。このような検討を重ねた上で、振興局や市が、補助事業事務を支援しました。

急激に増頭した経営体では、飼養管理が追い付かず、事故の発生や生産成績の低下につながることもあります。このような事態を防ぐために、普及センターとJAで技術の指導にあたりました。まず、増頭前は、基本技術の習得を目指し、月1回の定期モニタリングにより、牛の外観観察(BCS、ルーメンの張り、関節の腫れ等)による飼料充足状況や繁殖状況の確認を行い、飼料給与量の調整などに取り組みました。

そして増頭後は、定期モニタリングを継続し、新牛舎での牛の状態を確認しながら、対応が適切に行われているか確認しました。

粗飼料確保については、モデルが借地などにより粗飼料基盤を拡大し、適正な施肥管理による単

収の向上にも取り組み、粗飼料の自給率向上に努めました。市は、市営牧野の草地更新計画を作成して、毎年5ha以上の草地更新を進めてきました。その結果、牧草供給量は、表2に示すように増加しました。

	更新前	平成30年	令和元年	令和2年
3牧野 生産量	889	1,201	1,111	1,334

単位：ロール

表2 市営牧野の牧草供給量

□取組の成果

取組の成果ですが、着実に増頭し、個体乳量も目標を上回る成績を納め、粗飼料基盤も拡大しました(表3)。

	取組前 平成28年	目標 令和3年	実績 令和2年
飼養頭数	20頭	70頭	60頭
個体乳量 経産牛1頭あたり	6,900kg/年	8,200kg/年	9,070kg/年
粗飼料基盤	11.6ha	20ha	25.0ha

表3 規模拡大目標の達成状況

今後は、モデルの更なる経営発展に向け、省力化に向けた作業体系や粗飼料基盤強化に向けた草地更新や農地集約等も支援していくこととしています。

現在、モデルのもとには、クラスター協議会を通じて、地域の酪農家がたびたび視察に訪れており、今後も地域へのモデル波及を目指し、引き続き支援していきます。



株式会社湯田牛乳公社
新工場新築工事落成式

株式会社湯田牛乳公社 (溝渕郁夫代表取締役)



新工場の落成式が、令和3年7月31日に、関係者ほか約100名出席の下、開催されました。

冒頭、施主である溝渕代表取締役が挨拶を行いました。地域の歴史、湯田牛乳公社設立の経



母豚2,000頭の一貫経営

- ・農場 HACCP 認証農場
- ・良質豚ふん堆肥の供給
- ・徹底した衛生管理と優良系統豚による斉一性の高い高品質豚肉の生産・供給

「みなみよ〜とん株式会社」

岩手町大字川口36-242-3
TEL. 0195-62-9087 FAX. 0195-62-9373
※精肉のご用命は岩手畜流会(食肉専門店)へ

緯、地域における公社の使命など、公社の経営にとどまらず、地域を第一に思う心のこもったご挨拶でしたので、溝渕代表取締役のご厚意により頂戴した挨拶文の全文を掲載させていただきます。

「ただいまご紹介にあずかりました、株式会社湯田牛乳公社代表の溝渕でございます。本日は、お忙しい中、私どもの新ヨーグルト工場の落成式にご臨席賜りまして、誠にありがとうございます。去る3月30日に竣工式を迎えた後、充填機械の移設、試運転、調整作業そして段階的に生産活動を旧工場から新工場へ移して参りました。6月から新工場で本格的生産を開始し、動線や製造パターンの改善を進め、少しずつではございますが、お客様のご要望に沿えるよう増産体制の準備を進めております。これもひとえに本日ここにお集まり頂いております、皆様のご尽力があったからこそでございます。本当に感謝申し上げます。

さて、当社は今年で55年を迎えます。本日、ご出席の皆様にご社の歴史について少しだけ触れさせていただきます。

旧湯田町の時代に酪農家、牛乳販売店、農協そして町がまとめ役となってこの湯田牛乳公社が設立されました。当時は鉱山が元気な時代でありました。

その後の鉱山閉鎖と共に一気に人口減少が進み町外への販路拡大を余儀なくされ、農協、町の担当者、酪農家の皆さんが、盛岡市民生協へ牛乳の取り扱いにお願いに何度も諦めずに行きました。それならと盛岡市の仙北地区だけ宅配をすることを許され、そこから当社の本格的な牛乳事業が始まりました。すでに高温殺菌の牛乳が主流となっていた時代において、低温殺菌牛乳を飲んだ組合員の中で評判となり一気に広がり生協指定の産直牛乳工場となりました。その後は生協組合員の組合員活動とともに事業も拡大していき、現在の地に工場を移設して次々と新しい商品が生まれ、ヨーグルトもこの時に生まれました。

しかし、今から20数年前に新牛乳工場が完成しからの10年間というものは、弊社の綻びによる事故が多発したり、大手乳業メーカーの再編に翻弄されたり、量販店向けの高温殺菌牛乳の価格競争に巻き込まれたり、多難な時代でした。

一方で、打開策として、低温殺菌牛乳は付加価

値商品として生協牛乳を中心に死守しながら、ヨーグルト、プリンや牛乳寒天などにチャレンジを続け、ようやく出会えたのが現在のプレミアム湯田ヨーグルトです。

弊社は、特別な技術力があるわけでもなく、優れた頭脳集団がいるわけでもありません。ただ、良質で美味しい新鮮な生乳は間違いなく美味しい製品をつくることできるということは、低温殺菌牛乳を作り続けてきた経験が、会社の風土として染み込んでおります。そこから現在のこれらの商品が生まれてきたと思います。これからも同じ方向性、顧客視点で商品作りを進めてまいります。

今年、2月10日の取締役会において2030ビジョンを策定しました。高齢化率約50%、人口減少率岩手県で上位の町で、若者が安心して結婚して子育てできる町づくりに私達がどのように貢献できるのか目標に掲げました。

当社ならではの特色ある商品づくり、基盤となる酪農部門の強化、工場見学ができる会社周辺整備、広域から社員が入って来る環境作りなど取り組んで参ります。

当社は、第3セクターとして、出資者としての町、酪農家、農協の皆様との関係を大切にしながら、一方でコロナ禍の中、大きく変貌している市場でどのようなチャレンジをしていくのか問われています。全くの系列に属さない、資本関係もない、独立した当社は、皆様のお力添えがないと生き残っていくことはできません。どうかこれからも私達にご尽力下さいますようお願い申し上げます。

最後になりますが、この工場建設に施工者としてご尽力下さいました株式会社タカヤ様、末次興



動物の健康は人の健康につながる

●動物用医薬品販売の全国ネットワークを駆使し、あらゆる動物の健康維持に貢献します。

動物用医薬品・畜産用資材・器材・医療機器・医薬品

MPアグロ株式会社

本社:北海道北広島市大曲工業団地6-2-13 盛岡支店:TEL 019(638)3291

産株式会社様、株式会社渡辺設計事務所様、他、多くの工事関係者の皆様には、短い工期の中、ほんとうにありがとうございました。御礼申し上げます。

私たちは、2030ビジョン『西和賀町へ移住したくなる。働く場所がある。外に出た人が戻って来る。ここで生まれ育った人たちがやっぱりここで暮らしていて良かったと思える町。そういう魅力ある町づくりに貢献する100年企業を目指します。』

本日はご臨席賜り厚く御礼申し上げます。ほんとうにありがとうございました。」

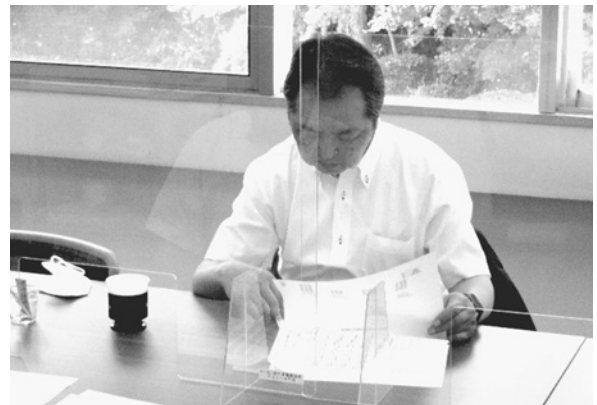
落成式は、新工場の前でのテープカットで終了し、その後、希望者による内覧会が行われました。2階の通路から、ガラス越しに製造工程を見ることができ、衛生面を重視している様子がよくわかりました。新工場の概要は次のとおり。用地面積10310.96㎡、鉄骨構造2階建て、延べ床面積3620.74㎡、生産能力日産11トン、FSSC22000(HACCPを上回る高度な食品安全マネジメントシステムに関する国際規格)取得に対応した設計施工。

神田謙一住田町長による視察

令和3年8月6日、神田謙一住田町長が当協会の視察調査に訪れました。最初に、東北一円を対象として実施している生乳検査の状況を実際に見ていただきました。次に、日常的に、県内各地を巡回配布している人工授精用凍結精液等の保管・処理室をご覧いただきました。その後、役員室で、副会長及び常務理事から、当協会の事業全体についての説明と住田町の畜産農家を対象となっている事業等の説明を受けられました。

神田町長は、ご自身が獣医師であり、町長になれる前は、畜産に長く関わっていたこともあつ

て、その都度、質問をされていました。今回の視察調査を通じて、当協会の事業についてご理解いただいたものと思われました。



説明を聞きながら資料に眼を通す神田町長

令和3年度前期牛群審査の実施状況について

一般社団法人日本ホルスタイン登録協会（以下「登録協会」という。）による令和3年度前期牛群審査が、本県では、6月1日から6月30日までの日程で行われ、無事終了しました。昨年度は、過去経験のない新型コロナウイルス感染症の国内での流行により、前期審査が中止されたため、2年ぶりの実施となりました。

一般に牛群審査と呼ばれているものには、①牛群審査（牛群検定実施農家が飼養する全ての経産牛が対象）、②牛群奨励審査（2産以上の経産牛

を対象とし、③の体型調査と同時に実施）、③体型調査（後代検定材料娘牛を飼養する牛群検定農家の初産牛（検定中）が対象）及び④ロボット調査（牛群検定農家の初産から3産までの牛が対象）の4区分があります。



農畜産物の「安心・安全」を未来につなぐ

小田島商事株式会社

プレミックス工場 0198-26-4726 代 家畜衛生食品検査センター 0198-26-5375 代 大館(営)、横手(営)、青森(営)、古川(営)、山形(営)、酒田(出)、福島(営)、旭川(営)、札幌(営)、帯広(営)、釧路(出)

<動物用医薬品・ワクチン・プレミックス・器具機材>

本社 〒025-0311花巻市卸町66番地 TEL 0198-26-4151 代
花巻(営) 0198-26-4700 代 八戸(営) 0178-34-2284 代
大船渡(営) 0192-26-4740 代

審査は、登録協会の審査委員に当協会の職員が同行して行われました。実施農家数は105戸で、令和元年度の87戸を上回り(約2割増)、審査頭数は1,417頭で令和元年度の1,013頭を大幅に上回りました(約4割増)。

審査結果は、その場で印刷され、受検農家に対して説明されるとともに、交配や管理へのアドバイスが行われました。登録協会では、審査得点90点以上をエクセレント(EX)として、優れた牛

であることの認証を行っています。90点未満については、その牛のレベルを分かり易くするため、85点以上89点までをベリーグッド(VG)、80点以上84点までをグッドプラス(G+)という言葉が便宜上使われています。今回は、EXの数が2年前の同期より9頭減りましたが、EX予備軍とも言えるVGが307頭から385頭へと大幅に増え(約2割5分)、牛群の整備が進んでいることが期待されました。

令和3年秋の農作業安全確認運動

農林水産省は、9月・10月を重点期間に認定して、農業機械作業による事故防止に向けた運動を展開しています。

「見直そう! 農業機械作業の安全対策」を重点推進テーマに、死亡事故の発生割合が高い、乗用型農業機械の作業におけるシートベルトやヘルメットの着用徹底など、農業機械作業の安全対策を見直す運動に、関係機関・農機販売店・生産者

団体が一体となって取り組むこととしています。

テーマに基づいた活動の柱は、①シートベルトやヘルメットの着用徹底と、作業機を付けた状態で公道走行する際の灯火器類の設置を集中的に働きかけること及び②安全フレームやシートベルト等が装備されていないトラクター所有者への、追加装備や買い替え等を働きかけることとしています。

毎年のように悲惨な農作業事故が発生しています。従事者が安全対策を心がけるのが第一ですが、安全対策が進むよう、地域での「声かけ」もしていただきたいものです。

岩手県家畜人工授精師協会通常総会

令和3年6月30日に、岩手県家畜人工授精師協会(後藤太一会長)の通常総会が、新型コロナウイルス感染防止の観点から書面議決により実施され、全ての議案が原案どおり承認・決定されました。

た。

令和3年度の事業計画では、例年実施している家畜人工授精技術向上のための家畜繁殖技術講習会のほか、日本家畜人工授精師協会の委託事業である交配調査業務の実施が盛り込まれました。

また、任期満了に伴う役員改選では、後藤太一会長、武田久男副会長が再任となりました。

岩手県乳用牛群検定推進協議会通常総会



岩手県乳用牛群検定推進協議会(会長・小野寺敬作岩手県農業協同組合中央会会長)の令和3年度通常総会が、7月9日に岩手県産業文化センター(滝沢市)で開催されました。

冒頭、渡辺亨副会長の挨拶要



旨は次のとおり。「当協議会の目的は、牛群検定事業の普及によって、酪農経営の収益性向上を図

- 共進会用 馬・乳牛用頭絡手綱・馬衣・乳牛用新型牛衣・肉牛用牛衣
- 牛馬手入用毛ブラシ・根ブラシ・金くし
- 普通乗鞍・ウエスタン鞍・ポニー用鞍等乗馬具・鞍馬具一式・畜犬具
- 電気工事用革ケース・カバン・ズック製袋カバン・リュックサックバンド・安全帯
- せんでい鉄ケース他造園工具ケース類 ●その他特別御注文のカバン等承っております

創業110年品質第一手造りの店

岩手県指定店 **塩釜馬具店**

盛岡市大沢川原2丁目2の32 TEL019-622-5393(労働福祉会館隣)

ること。最新のデータでは、本県の検定加入率は47%、頭数ベースでの加入率は67%。全国平均と比較すると農家加入率が低い。家畜改良事業団の資料によると、検定事業加入によるメリット、特に経済的な部分では、経産牛40頭規模で、年間乳量約93t、乳代だと約998万円の差がつくと試算が示されている。こうしたメリットを、分かり

やすく生産者に伝えていくことが重要である。」

総会では、令和2年度事業実績及び決算並びに令和3年度事業計画が原案どおり承認されました。

また、任期満了に伴う役員改選では、新岩手農業協同組合の宇部洋吾常務理事が会長に選定されました。

第12回全国和牛能力共進会 種牛群地区選抜会

和牛能力共進会岩手県出品対策委員会(委員長・米谷仁県畜産課総括課長)は、令和4年10月に鹿児島県で開催予定の第12回全国和牛能力共進会「第6区総合評価群」出品候補牛の地区選抜会を、県内2か所で開催しました。

7月2日のJA全農いわて中央家畜市場では、いわて和牛中央育種組合管内から、「暁雲」(父・山根雲、宮城全共若雄の部優等賞3席)の娘牛26頭が集められ、その中から10頭が選抜されました。

7月6日のJA全農いわて県南家畜市場では、いわて



県南和牛育種組合管内から、「美津福勝」(父・菊福秀)の娘牛5頭と、「結乃宝」(父・菊福秀)の娘牛7頭が集められ、その中から「結乃宝」の娘牛7頭が選抜されました。

選抜された牛は、今後、関係者による指導の下、飼養者による育成管理が行われます。

出品牛の最終選抜は、令和4年(2022年)開催予定の岩手県畜産共進会となっています。

令和3年度いわてスマート 農業推進シンポジウム

令和3年度いわてスマート農業シンポジウムが、8月27日に開催されました。本県における新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、岩手県が独自の「緊急事態宣言」を発出したことから、オンラインでの開催となりました。

シンポジウムは、午前の全体会と午後の分科会の二部構成で行われ、全体会では、主催者である佐藤隆浩岩手県農林水産部長の挨拶の後、農研機構東北農業研究センター宮地広武さんの「水田農

業における労働力不足の解消に向けた輪作体系の実証」と題した基調講演が行われました。労働力不足の中、効率的な大規模経営を実現するためには、ロボット農機やドローンの利活用が今後は必要であり、また、初心者でも利活用可能な自動操舵装置の導入も必要であるという内容でした。そして、実践例として、北上市の株式会社西部開発農産の取組が紹介されました。次いで、JA全農いわて営農技術課の衣川優乃さんから、「全農いわてのスマート農業の取組について」と題して、県内の取組事例が報告されました。

午後は、水田利用、露地野菜・花卉、施設園芸、果樹、畜産の5分科会に分かれて、それぞれの分野での事例紹介が行われました。畜産分科会で



一般社団法人 家畜改良事業団盛岡種雄牛センター

家畜改良事業団では、牛凍結精液の他、全国的な評価が高まっている体外受精卵(IVF卵)、発情周期の同調純性発情・卵巣停止に効果を発揮するイージーブリード、凍結精液の保存容器(MVE社製)を取扱っております。ご利用についてのお問い合わせ・パンフレットのご請求は、盛岡種雄牛センターまでお願い致します。

〒028-4134 岩手県盛岡市下田字柴沢301-5

TEL 019-683-2450 FAX 019-683-1334 <http://liaj.or.jp/morioka/>

は、「岩手町ハッピーヒルファームの取組紹介」と題して、有限会社ハッピーヒルファームの千葉雄大専務取締役が、自社に導入したテザミス株式会社のU-motion（人工知能搭載型行動モニタリングシステム）の利用状況を説明しました。次いで、紫波町の和牛繁殖農家吉田辰巳さんが、株式会社ファームノートの「ファームノートカラーの活用事例報告」、岩手県立農業大学校准教授の山口直己さんが、「ICT・スマート農業の実践教育

と利用の効果（ファームノートの活用効果）」を報告しました。

新型コロナの影響で、農業分野においても、海外からの労働力が不足する事態に陥っています。

農作業の負担軽減や効率を図るためには、スマート技術に期待するところが大きく、そうした意味において、時宜を得たシンポジウムになりました。

小岩井農場で生産された乳牛(未經産)がゲノミック評価No.1

先ごろ、独立行政法人家畜改良センターが公表した「ゲノミック評価成績2021-02月」で、小岩井農場生産の未經産牛が国内No.1となりました。今回No.1となった牛は、2020年8月1日に同農場で生まれた「コイワイ ジヤマルコ ウイングス クラシー ET」です。

ゲノミック評価というのは、乳牛の遺伝的能力を評価する手法で、従来の評価に用いられていた乳量や体型などの血統情報に、遺伝子DNA(厳密には、一塩基多型(SNP))の情報を加味する評価方法で、より高い信頼度が得られるものです。

小岩井農場は、我が国の乳牛改良に大きく貢献

してきた歴史を持っていますが、将来、牛群改良への本牛の活用に期待が膨らみます。



コイワイ ジヤマルコ ウイングス クラシー ET

青葉コーナー

天満達也（九戸郡洋野町帯島）の経営をご紹介します。

達也さんは、現在47歳。酪農（経産牛54頭・育成牛26頭）と肉用牛繁殖（経産牛19頭・育成牛4頭）、いわゆる乳肉複合経営を営んでいます。



達也さんは、旧姓が大沢で、生まれは久慈市宇部、農業を営む実家はお兄さんが継いでいるとのこと。中学卒業後、デザイン関係の仕事にあこがれ、久慈工業高校インテリア科で学びました。卒業後は、地元でデザイン関係の働き口がなかったことと農協に勤めていた高校の先輩からの勧めがあったことから、地元の宇部農協（現在の新しいわて農協）に就職しました。

33歳の時に、職場の同僚で、家畜人工授精師の天満寿子（ひさこ）さん、今の奥様とご結婚され、今の姓になりました。寿子さんとの間に、上は13歳から下は9歳まで3人（生まれた順番に長女・次女・長男）のお子さんがいます。

寿子さんのお母様、天満ケイ子さんは、洋野町帯島の酪農家の三代目で、平成元年にご主人を亡くされた後、義理のお父様とお二人で、酪農を続けてこられました。

○草地造成地用に

チッソ リン酸 刈
草地484号 14-28-14

○苦土の補給に

チッソ リン酸 刈 外
草地211号 20-10-10-5

○カリ過剰対策に

チッソ リン酸 刈 外
草地NP260号 12-6-0-9

草地NP420号 24-12-0-7

豊かな大地を育む

B.B. 肥料

くみあい肥料株式会社

〒025-0312 花巻市二枚橋第5地割146番地 TEL0198-26-3313 FAX0198-26-3316

そこに、跡取りとして達也さんが婿入りし、達也さんは、農協勤めのかたわら、酪農を手伝うようになりました。平成24年、農作業中に足を負傷し、4か月の入院生活を送りました。これを機に、平成25年2月に農協を退職し、酪農に専念することになりました。

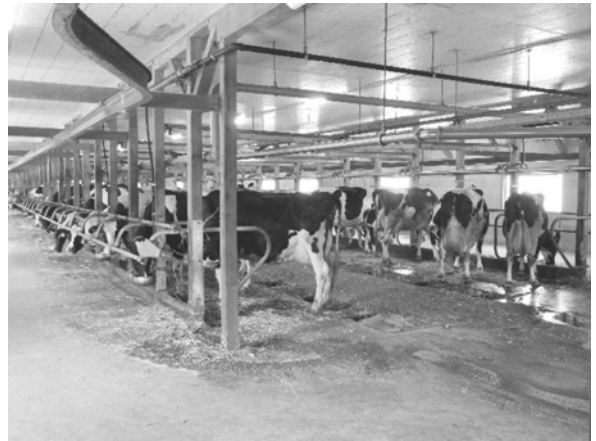
令和元年に、ケイ子さんが年金受給開始年齢に達したため、令和2年1月に経営移譲を受け、名実とも経営を担うことになりました。

達也さんが就農した当時の経産牛頭数は28頭で、約2倍に規模拡大しています。規模拡大のために、平成29年4月に酪農牛舎を新築し、古い牛舎は肉用牛繁殖に使っています。労働力は、達也さん、寿子さんとケイ子さんの3人です。労働負担を軽減するため、牛舎新築に合わせて、畜産クラスター事業を活用し、自動給餌機とキャリロボを装備しました。自給飼料は、26ha（うち借地3.5ha）の草地、6haのデントコーン畑を作付けしています。自給飼料生産においても、同業者との共同作業や、大野畜産公社への作業委託などに

より、効率化・負担軽減を図っています。

平成29年に、岩手県乳質改善協議会から「乳質改善大賞」を受賞しています。地域では、陸中ホルスタイン改良同志会に所属し、洋野堆肥センターの監事も務めています。

過去、農作業中に怪我をした経験から、「忙しい中でも、健康第一で、決して無理をしないこと」をモットーにしているとのことでした。



家畜の保健衛生 (137)

ヨーロッパ腐蛆病(ふそびょう)の発生と対策

令和3年4月、県内の養蜂場にて、ヨーロッパ腐蛆病と診断された事例がありました。県内の発生は、平成23年以来10年ぶりとなります。今回は本例の発生概要と対策を述べます。ヨーロッパ腐蛆病は、ヨーロッパ腐蛆病菌 (*Melissococcus plutonius*) によるミツバチ幼虫の感染症であり、家畜伝染病予防法によりアメリカ腐蛆病とともに「腐蛆病」として法定伝染病に指定されています。本病は、巣房に蓋がされる前の4~5日齢の幼虫が死亡し、二次感染菌の作用により乳白色、水様性を示し、酸臭を発することがあります。国内では予防薬はなく、本病の感染拡大防止には、飼養衛生管理の徹底が重要です。

発生状況は、令和3年4月、県内養蜂場で無蓋幼虫と若齢成虫の死亡が確認されたため、当所に通報があり、病性鑑定を実施しました。死亡した無蓋幼虫に粘着性はなく黄色水様で、融解してい

るものもみられました。死亡幼虫がみられた巣脾は、酸臭が確認されました。

立ち入り時に幼虫を有していた各群の死亡幼虫計16検体を用いて検査を実施しました。検査成績は、ミルクテスト(※)は全検体陰性、ヨーロッパ腐蛆病菌の選択培地であるKS-BHI培地を用いた分離培養で、15検体から白色小集落の発育が確認されました。分離菌のPCR検査で *Melissococcus plutonius* 遺伝子が検出され、生化学性状においても性状が一致したことから、発生状況及び検査成績より、本例をヨーロッパ腐蛆病と診断しました。同飼養場所の17蜂群は全て焼却処分され、飼養場所及び管理資器材等の消毒を行いました。

ヨーロッパ腐蛆病菌の特徴としては、ミツバチの幼虫が本菌に汚染された餌を食べることにより感染します。本菌の幼虫に対する直接の病原性はまだ不明な点が多くありますが、増殖した菌による栄養分の消費が幼虫の栄養状態の悪化、症状の重症化に影響していると考えられています。アメリカ腐蛆病は菌が産生するタンパク質分解酵素が死亡した幼虫の腐敗に関与しますが、ヨーロッパ腐蛆病は、幼虫の死後二次感染した菌が腐敗に関

鳥^{チョウ}うまい!!!

新鮮安心ヘルシー
岩手県産チキン!!

岩手県チキン協同組合

岩手県盛岡市盛岡駅前北通6-47
TEL 019-624-2870 FAX 019-625-0486

与するため、ミルクテスト陰性を示します。

ヨーロッパ腐蛆病は、幼虫が本菌に感染しても、必ずしも典型的な症状を示さず、また、見かけ上は健全な群でも不顕性感染の蜂もみられることが知られています。幼虫が摂取する菌量が多いほど死亡率が高くなる傾向があることから、本病の発症予防には、管理資器材の適切な消毒による一般的な衛生対策と、蜂にストレスのかからない適切

な飼養管理が重要となります。

※ ミルクテスト

スキムミルク水溶液に腐蛆を混ぜて、透明化の有無をみる検査法。アメリカ腐蛆病の場合は、菌の産出するタンパク分解酵素により水溶液が透明化する。アメリカ腐蛆病とヨーロッパ腐蛆病の鑑別に用いられる。

畜産の研究 (133)

玄米およびくず大豆を活用した南部かしわ雌の飼料給与技術

南部かしわを飼養している生産者は、地域で生産された玄米およびくず大豆を試験的に給与していますが、くず大豆はタンパク質分解酵素であるトリプシンインヒビター等を含み下痢などを引き起こすため、加熱してから給与しています。加熱加工は労力を必要とすることから加熱または生のくず大豆と、玄米を給与した場合の発育成績、産肉性、経済性を検討しましたので紹介します。

【方法】

南部かしわの雌50羽を用い、4週齢から配合飼料の代替として玄米及び加熱又は生のくず大豆を、それぞれ表1に示す割合で混合した飼料を飽食給与し、体重が概ね2.8kgに到達した時点で、と畜解体調査しました。

表1 各区の飼料の配合割合及び成分

区分	羽数	供試原料(%) (原物)				粗蛋白 CP(%)	代謝エネルギー ME(cal/kg)
		配合飼料 ^{*1}	玄米	加熱くず大豆 ^{*2}	生くず大豆 ^{*3}		
対照区	10	100	-	-	-	18.50	3,200
加熱15%区	10	50	35	15	-	18.12	3,288
加熱20%区	10	30	50	20	-	17.62	3,320
生15%区	10	50	35	-	15	18.12	3,288
生20%区	10	30	50	-	20	17.62	3,320

※1 プロイラー後期飼料 ※2 150℃で10分間加熱後、破砕したもの ※3 加熱せずに破砕したもの

表2 発育及び産肉性

区分	8週齢 (g/羽)	16週齢 (g/羽)	日増体量 (g/日)	正肉量 (g/羽)	胸肉L*	胸肉b*
対照区	1,593	3,051	29.2	1,164	41.77	4.60
加熱15%区	1,500	2,955	28.0	1,042	41.81	3.69
加熱20%区	1,413	2,922	27.6	1,094	40.76	3.42
生15%区	1,517	2,999	28.5	1,084	43.09	3.25
生20%区	1,284	2,834	26.5	1,060	46.25	2.60

※と殺：117日齢 ※正肉：胸肉、腿肉、ささみ ※L*：明度、b*：黄色度

【結果】

全ての区において、16週齢で出荷目標体重(2.8kg)へ到達し、正肉量1kg以上が得られました。くず大豆の生給与は加熱と比較し、胸肉の明度が高く黄色度が低く淡明化しました(表2)。以上より、くず大豆を加熱して給与する場合は、玄米50%と加熱くず大豆20%、生の場合は玄米35%と生くず大豆15%の割合が望ましいです。この場合、正肉1kg当たりの飼料費は、それぞれ約40及び25%の削減が見込まれます(表3)。

表3 飼料費

区分	飼料単価 ^{*1} (円/kg)	飼料総摂取量 ^{*2} (g)	正肉1kg当たり飼料費(円%)
対照区	88.0	8,522	645 (100) ^{*3}
加熱20%区	49.6	8,946	401 (62) ^{*3}
生15%区	60.7	8,653	486 (75) ^{*3}

※1 1kg当たり、配合飼料88円、玄米30円、くず大豆41円と計算

※2 4~16週齢までの総摂取量

※3 対照区を100%とした時の割合平均値±標準偏差

畜産技術情報 (86)

1 飼料用トウモロコシの収穫

本年は、雄穂と絹糸の抽出が平年より数日早かったため、黄熟期到達もやや早まると考えられます。収穫調製機械のメンテナンスやサイロ・資材等の準備、作業の打合せは早めに行っておきましょう。

(1) 収穫適期

収穫は、茎葉と子実全体の乾物率が28%以上になり、子実が「黄熟期」になった時に行います。「黄熟期」より早いとでんぷんの蓄積が不十分であったり、排汁とともに栄養分が流出したりします。また、「黄熟期」より遅れると消化率が低下するほか、踏圧と密封が不十分になりやすく、発酵品質が低下します。

なお、破碎処理を行う場合は消化率が高まるので、収穫期を黄熟期以降にやや拡大することが可能です。

(2) 収穫適期の判定方法

トウモロコシの雌穂（実）の中程を折って子実の断面を見ると、黄色い部分と乳白色の部分に分かれています。この境目を「ミルクライン」と言い、熟度が進むにつれて子実の外側から中心に向かって、黄色い部分が増えていきます（図1）。収穫適期である黄熟期は、ミルクラインが子実の外側から40～50%に達した頃です。

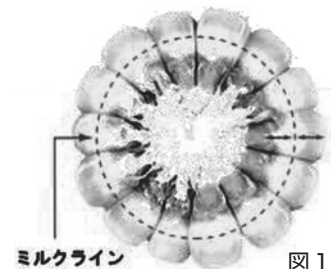


図1

(3) 収穫とサイレージ調製作業の留意点

ア 降雨直後には刈らないようにします（露付きは最悪です）。

イ 切断長は約10mmに調整し、原料の詰込密度を確保して良質な発酵を促します。切断長が長くても反芻時間は増加せず、採食量が減少する場合もあり、牛の採食性からも10mm程度が推奨されます。

なお、プロセッサ（破碎処理機）を利用する場合の切断長は、20mm程度が良いとされています。

ウ サイロへの原料の詰め込みは、1日で1本を仕上げてしまうのが原則です。2日にまたがる時は、品質劣化を防ぐために、原料を堆積する繋ぎ目にプロピオン酸やギ酸を散布します。

エ ハーベスタの刃はよく研磨し、原料の切断面を鋭利にします（図2）。排汁による栄養分ロスが減るとともに、反芻に有効な飼料が多く供給されます。

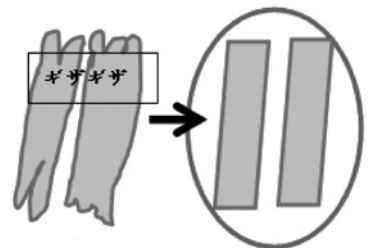


図2 切断の状況

オ バンカーサイロやスタックサイロでは、図3のように緩やかに長いスロープをつくり、原料を薄く広げて踏圧することが、空気を排除し詰め込み密度を高めるポイントです。材料の拡散厚はできれば20cm、最大でも30cm以内で十分に踏圧します。また、原料を搬入するダンプを待機させてでも踏圧を優先するようにします。「踏圧優先」は、作業に従事する全員が認識しておく必要があります。

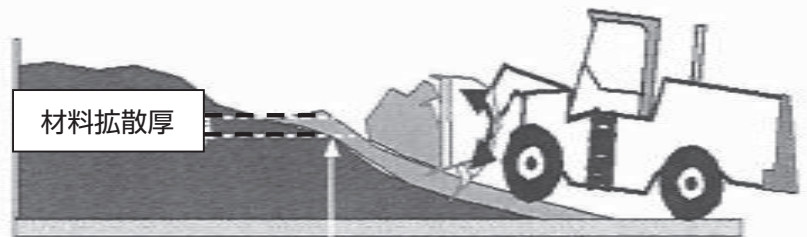


図3 踏圧のポイント

カ サイロへの土壌の混入を防ぎます。バンカーサイロでは、バンカーの奥

まで運搬車を入れないようにします。また、エプロン部分を整備することも土壌の混入防止になります。

キ 詰込終了後は、速やかにサイロを密封して嫌気状態を作り乳酸発酵を促します。

(公社) 中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報
がんばる! 畜産! 4

畜産現場の「今」を30分の番組にしました!
映像を各種研修会、セミナーなどで活用ください!
配信の内容: 作業・管理の外部委託で規模拡大をめざす! / 若者たちの挑戦! / 鶏の卵が食卓に届くまで / 他

(公社) 中央畜産会 経営支援部 (情報) TEL03-6206-0846



スマートフォンからはこちら
パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産

2 乳用牛の飼養管理

(1) 牛舎内環境

残暑が続くので、輻射熱や直射日光の遮断、日中の送風を継続します。なお、昼夜の寒暖差が大きくなるので、ほ乳子牛（適温域13～25℃）では、「窓やカーテンの開け閉めの調整」「新鮮で清潔な水の給与」「敷料のこまめな交換による乾いた牛床の維持」に努めます。

(2) 飼養管理

ア 新鮮で清潔な水をいつも飲める状態に保ち、良質粗飼料の給与を継続します。

イ 気温が低下すると飼料摂取量が増加します。腹の出具合（ルーメンフィルスコア）と残飼を確認し、給与量を調整します。なお、長期間採食量の少なかった牛では、ルーメンの発酵酸の吸収能力が低下している可能性があり、採食量増加に伴うアシドーシスに注意します。摂取量が増え軟便になる場合は、粗飼料の給与と割合を多めにして一度様子を見て、軟便が改善してきたら徐々に穀類の給与割合を増やし、栄養を充足させます。

ウ 起立時間が増加した、あるいは固め食いや選び食いの多かった牛では、蹄病が発生しやすくなります。起立時や歩行時の状態を観察し、問題がある場合は早めに獣医師や削蹄師に処置を依頼します。

エ 暑熱時に分娩を迎えた牛は、ストレスを他の牛よりも強く受けていますので、栄養管理を徹底するとともに、子宮の回復が普段よりも遅れると想定し、早めに回復状態の確認と必要な治療を獣医師に依頼し、初回授精が遅れないようにします。

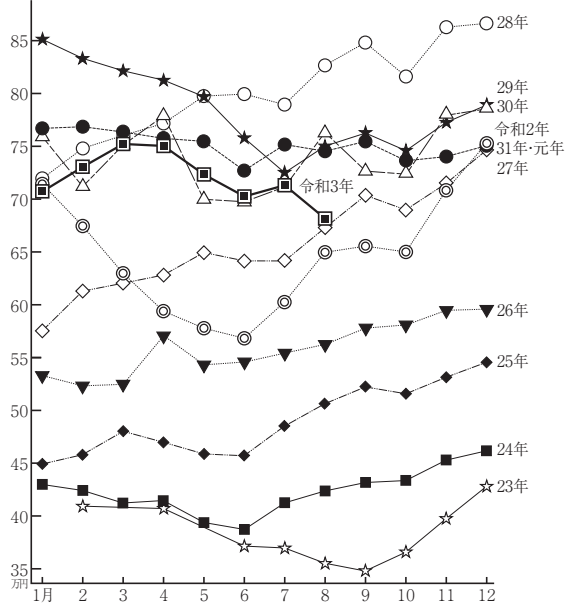
県内黒毛和種子牛市場成績

(全農岩手県本部)

市場区分	性別	令和3年7月			令和3年8月		
		頭数	平均価格	平均体重	頭数	平均価格	平均体重
県南初日 胆江・気仙	雌	97	694,848	298	93	660,189	291
	雄						
	去勢	149	716,543	332	116	724,824	321
	計	246	707,989	318	209	696,063	308
県南2日目 磐井	雌	98	708,097	291	101	662,843	283
	雄						
	去勢	148	756,235	325	110	724,200	313
	計	246	737,058	312	211	694,830	299
中央初日 紫波・盛岡 花巻・北上 遠野	雌	118	661,352	286	99	634,211	287
	雄						
	去勢	164	702,390	320	156	702,428	317
	計	282	685,218	306	255	675,944	305
中央2日目 宮古・北部 奥中山・久慈	雌	139	689,431	287	110	653,060	283
	雄						
	去勢	200	726,369	308	169	711,713	311
	計	339	711,223	299	279	688,588	300
中央3日目 滝沢・雫石 八幡平・玉山 岩手・葛巻	雌	131	704,554	273	149	640,761	274
	雄				1	548,900	274
	去勢	231	736,781	301	210	682,210	300
	計	362	725,119	291	360	664,684	289
合計	雌	583	691,185	286	552	649,351	283
	雄				1	548,900	274
	去勢	892	727,971	315	761	705,471	311
	計	1,475	713,431	304	1,314	681,776	299

※ 価格は円（税込み）、体重はkg

子牛価格の推移



県内家畜市場における指定肉用子牛取引実績

公益社団法人岩手県農畜産物価格安定基金協会

区分	令和3年7月		令和3年8月	
	頭数	平均価格	頭数	平均価格
黒毛和種	924頭	696,630円	877頭	666,323円
褐毛和種	-	-	-	-
日本短角種	-	-	-	-
ホルスタイン種	-	-	-	-
交雑種 (母がホルスタイン種)	7頭	305,171円	4頭	309,925円

※ 指定肉用子牛とは、肉用子牛生産者補給金制度における、平均売買価格算定の対象となる牛（区分ごとに体重の範囲が定められている。）

※ 平均価格は消費税込み